

安定ヨウ素剤 Q&A



安定ヨウ素剤ってなに？

原発等で重大事故が起こり放射性物質が放出されたときに、放射性ヨウ素によって甲状腺ガンになるのを防ぐのに必要な薬です。放射性ヨウ素以外の放射性物質には効果がありません。

ヨウ化カリウム50mgが含まれている直径5ミリほどの丸剤です。乳幼児用にはゼリー剤（32.5mgと16.3mgの2種類）があります。

直接日光の当たらない、高温にならず、湿気の少ない場所に保管してください。ヨウ素剤が赤い袋に入っているのも遮光のためです。

丸剤、ゼリー剤ともに有効期間は3年間です。有効期間を過ぎると使えないので、更新が必要になります。

どうして甲状腺ガンを防げるの？

甲状腺は成長や代謝を促す甲状腺ホルモンをつくる大切な器官です。甲状腺はヨウ素を取り込む作用があるため、体内に入った放射性ヨウ素を集めて、被ばくしてしまいます。

しかしあらかじめ甲状腺が安定ヨウ素で満たされていれば、放射性ヨウ素が取り込まれにくくなります。そのため甲状腺が被ばくしてがんになるのを防ぐことができます。

いつ、どのようにのめば良いの？

のむタイミングが重要です。放射能を含んだプルーム（雲）が到来する24時間前から直前までの間にのんで（13歳以上は1回2錠）、安全な場所へ避難してください。

放射性ヨウ素にさらされる24時間前にのめば90%の抑制効果があります。放射性ヨウ素を吸入した2時間後にのめば80%の抑制効果となり、8時間後では40%となります。のんでから24時間過ぎても放射能プルームから抜け出せないなどやむを得ない場合は、もう1回のみます。

のむタイミングは国の原子力対策本部や自治体が指示しますが、指示が間に合わない可能性もあります。

子どもはどうすればいいの？

3歳以上13歳未満の子どもは1回1錠のみます。

1ヶ月以上3歳未満の幼児はゼリー剤1包（ヨウ化カリウム32.5mg）をのみます。これは丸剤の3分の2錠に当たります。

1ヶ月未満の新生児はゼリー剤1包（16.3mg）を1回だけのみます。これは丸剤の3分の1です。

ゼリー剤がなければ丸剤を砕いて相当量をシロップにまぜてのませてください。

どこで入手できるの？

原発から5km以内のPAZ（予防的防護動区域）では事前に配布されます。30km以内のUPZ（緊急防護区域）では、全面緊急事態で住民が避難する段階で、一時集合場所等で配布されます。

個人で求める場合は、安定ヨウ素剤を取り扱っている医療機関の窓口で安定ヨウ素剤を希望と伝えてください。

問診の上、**ヨウ素アレルギー**等がなければ、使用者の氏名、生年月日を登録の上、処方してもらえます（丸剤のみ）。

大人はひとり2回分4錠です。1錠6円と安価ですが、他に初診料や保険外取扱料がかかることがあります。

副作用はないの？

まれにうがい薬イソジンなど**ヨウ素を含む薬でアレルギー**症状が出る人がいます。そういう人は安定ヨウ素剤を使えないので、予防的に早く避難する必要があります。

ヨウ素を連続して多量に摂ると、甲状腺機能低下症を起こすことがあります。妊娠中と授乳中は多量に摂ると**子に甲状腺機能低下症を起こす危険**があるので、服用は1回にしてください。

甲状腺腫、慢性気管支炎、気管支ぜん息、梅毒の場合は、まれに治療のためヨウ素剤を内服していることがあり、ヨウ素が過剰になる可能性がありますから、主治医に相談してください。

事前に配布されないの？

PAZの住民には、説明会で医師の問診の上、安定ヨウ素剤が配布されます。

UPZの住民には、事前配布でなく保健所等に準備されていますが、緊急時に**間に合わない可能性**があります。

全国的にはUPZの住民にも事前配布している自治体もあり、市民グループ主体で説明会を開き配布しているケースもあります。

滋賀県ではどうなっているの？

滋賀県内では高島市と長浜市のUPZ（緊急防護区域）の住民には安定ヨウ素剤が準備されています。

大津市は独自のUPZを設定し、40歳未満の住民には1回分準備されています。

他にも保健所や役場等に備蓄している市町もあり、米原市と近江八幡市は事前配布を検討しています。

<あとがき>

ふくた診療所（福田章典医師）では安定ヨウ素剤を取扱料1000円で処方しています。

守田敏也『原発からの命の守り方』海象社、第5章も参考にしました。

作成：原発を考えるびわ湖の会